

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2971500174		
法人名	特定非営利活動法人 ハッピードリーム		
事業所名	グループホームシオンの郷(ひだまり)		
所在地	生駒郡三郷町信貴ヶ丘3-4-21		
自己評価作成日	平成21年9月30日	評価結果市町村受理日	平成22年2月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-nara.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2971500174&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1番21号 八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成21年11月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い敷地には、人口芝生の広いテラスと日本庭園でゆっくり散歩といった環境を持つグループホームです。建物(ホーム)も大きく、入居者がゆったりと過ごせる空間を持っています。ご家族やお知り合いの方がいつでも来ていただけるよう、もてなしの心でお待ちしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは広い敷地を有し利用者は自由に散歩することが出来、池の鯉に餌をやったり、庭の草木の手入れや落ち葉拾いを役割りとするなど、常に季節を感じながら生活しています。2ユニットではありませんが、一つの大きな家として生活することを支え、好きな絵を描いて過したりひょうたんのランプ作りに励む利用者など、思い思いの暮らしを楽しんでいます。ホームでは利用者全員が毎月外出を兼ねて近くにあるデイケアに出かけています。その時間を利用して職員全員が出席する会議を1日かけて行い、職員の意見やアイデアを運営に反映させています。看取りに対しても希望があれば受け入れ、医療や家族、職員間でも方針を共有しながら、利用者が安心して暮らせるための支援を心がけています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、スタッフ皆で理念を読み、共有し続ける努力を行っている	設立時に作られた理念は5項目からなっており、地域密着型サービスとしての思いも含まれている。玄関に掲示され、職員は朝の申し送り時に唱和し、会議等でも職員間で思いにブレが生じない様に確認し合い、日々のケアにあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会のお祭りに参加させていただいてる。地域の子供たちが放課後にはテラスで遊んでいる。(地域に開放している)	回覧板や運営推進会議で情報を得て、自治会の祭り等に参加したり、ホームの運動会に地域の方を招待している。また広い庭を地域の子供たちに提供し、地域のボランティアを受け入れるなど、少しずつ地域との輪が広がっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議等での地域呼びかけについて考えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域運営推進会議等では地域根ざして行くことに意見を求めたり、地域の高齢者に対しての情報に前向きに取り組んでいる	運営推進会議は3.4ヶ月に一度、自治会長、町職員、地域包括支援センター職員、民生委員、他ホーム管理者等の出席を得て開催されている。ホームからの現状報告がなされ、時には歯科衛生士より口腔ケアの必要性の説明や、地域の高齢者問題を話し合い、運営に反映させている。	2ヶ月毎の開催を定期化され、家族会と運営推進会議を合同で開始する等の工夫をして、運営推進会議に家族や利用者の参加を得て、行政や地域と一緒に話し合う機会を確保されてはいかがでしょうか。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	入居状況の連絡やその他の規定等の相談に応じて頂き協力等していただいている。	スプリンクラー設置について等、何か問題があれば相談したり、書類を届けてくれる等の行き来がある。またホームのパンフレットを町役場に置かせてもらうなど、運営推進会議の出席も含め協力体制が構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をしない取り組みについては、情報資料等を熟読できる環境づくりを行っている	門扉は地域との協定のため、階段は転落防止のため施錠しているが、家族の同意を得ており利用者の行動を制限しないように配慮している。玄関やエレベーターは施錠せず自由に行き来出来、利用者は広い敷地を自由に散歩している。職員は身体拘束の排除に関する研修を行い、弊害についての理解を深めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体ケアについて、状態等を常に記入するような取り組みを行い、虐待防止にむけ資料等熟読できる環境づくりを行っている		

グループホームシオンの郷(ひだまり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を導入しているので、相談や希望に応じている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書は事前に読んでいただけるような時間を提供し、その後日には重説を読み上げ、不明な点等を必ず聞き対応するようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者に直接連絡できるような体制作りを行っている。相談等は随時行っている。	頻回にある家族の来訪時や年に2回行われる家族会の際に、直接意見や要望を聞いている。また管理者の携帯番号を家族に伝えたり、内外の苦情機関を書面に掲載し、家族が意見をいつでも気軽に伝えられる機会を確保している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ全体会議を行い、意見や提案を聞く機会を設けている	毎月の全体会議の日は、全職員が参加して行えるよう取り組んでいる。利用者への支援はじめ職員の意見やアイデアを運営に反映させている。また休憩は必ず1時間は取れるよう配慮し、親睦会等でストレス軽減を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	交付金の申請を行うなど、働き続けられる環境づくりに前向きに取り組んでいる		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の能力、スキルアップのため研修等の参加と積極性働きながらのトレーニングを進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流する機会を設け、互いの向上できる環境づくりに取り組んでいる		

グループホームシオンの郷(ひだまり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	個々のサービスが行えるように、常に個別ケアに取り組んでいる		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居にあたり、家族の介護方針や努力し続けてきた内容にも触れさせていただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居にあたり、家族の介護方針や努力し続けてきた内容にも触れさせていただいている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活を行ううえで、より身近な存在であることに意識し、日々の生活を過ごす努力を行っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	親族や家族の恒例イベントには出来る限りの環境づくりに協力している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からのお付き合いされていた方々の訪問にも歓迎し、環境づくりに協力している。	家族や親戚、友人が訪ねてきたり、葬式をホームで行ったこともある。広い庭を近所の子供の遊び場に提供したり、月に1度、利用者全員で近くのデイケアに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士が手を取り合える場を作ったり、役割を持ち合える環境づくりを行っている		

グループホームシオンの郷(ひだまり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院された方には、定期的に訪問し、以前でのお付き合いを大切に思い努力している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の要望や意向を、何らかの訴えの中で身を賭さないような努力と本人の様子で敏感に感じ取れるよう努力している	日々コミュニケーションを図る中から、利用者の思いや希望を把握したり、行動や表情から本位ををくみ取っている。また自宅を訪れ、生活環境を見たり家族から聞くなどして把握している。職員間の情報は申し送りノートで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来る限りの多くの情報を聞き、本人の暮らし方に近く、その時々々の要望に柔軟に対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日全体の食事摂取や心身の状況等も記録しスタッフの把握に努力し安心し過ごせるよう努力している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	6ヶ月に一度介護計画を作成している。同時に家族や必要な関係者が意見を出し合い本人らしい暮らしができる支援を行えるよう作成している	利用者や家族の希望や情報をもとに全体会議で話し合わせ、必要時には医師や看護師の意見も反映されたケアプランを作成している。ケアプランは毎月のカンファレンスで話し合わせ、6ヶ月毎に見直しされているが、モニタリング、評価の記載がなされていない。	毎月のカンファレンスでケアプランに沿ったモニタリングをされ、評価したうえでケアプランの見直しがなされるよう、書類の整備が期待される。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日全体のケアを丁寧に、チームケアの実践が行える環境づくりを踏まえたケア表作成に取り組んでいる		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族との交流を重視して、来客等にも本人がしたい事のお手伝いや支援でもてなしの心を大切にしている。		

グループホームシオンの郷(ひだまり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	住宅街から聞こえる子供たちの声、敷地内で遊んでいる子供たち、家族とのふれあいにより、自由に散歩したりと快適に暮らせるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域の医療との連携、提携により、往診と24時間体制の導入や健康管理が確保され安心でき、スタッフも情報を共有している。	入居前に本人、家族に説明し、情報提供と管理がスムーズに行えるために、ホームの協力医に変更頂いている。協力医の往診は月2回あり、歯科や眼科の定期的な往診、訪問看護の協力で日々の健康管理がなされるなど、医療面での安心が確保されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護により、健康管理や身体の状態の把握がされ、医師との連携とれていて、入居者、スタッフともに安心できる環境ができている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医師により、入院や検査にも対応的確に行われ、病院関係者との関係もスムーズに行われている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針は、入居時より話し合いを行い、時期を迎える場合においても都度話し合いを行い医師との連携により、関係者が共有し本人らしい終末を迎えられるよう支援を行っている。	看取りは以前も経験があり、家族が希望すれば看取りを行う方針である。時期が来れば、医師と訪問看護、家族を交え話し合い、文書を交わしている。職員も看取りを経験したことで思いを共有し、更なる支援を目指し努力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応に備え、マニュアルを常に見られる環境をつくっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行っている。地域の消防署から管理、確認、検査を依頼している。	年に2回、ホームの防火責任者の指揮のもと消防署の協力を得て、昼夜を想定した避難訓練が行われている。災害時の一斉通報装置を設置し、定期的に消防署から点検や見守りに来てもらっている。	

グループホームシオンの郷(ひだまり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人としての尊厳を重視し、入居者の快適で穏やか生活を確保できるような対応をしている	理念にも掲げ、人としての尊厳を大切に、言葉かけも利用者にとって心地よい呼び方になるよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ありのままを受け入れ、共感できることを努め本人本位で過ごせるような努力をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人本位で過ごせるような空間づくりを心がけ行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好む衣服を持ってきてもらうよう家族に伝え、本人が快適に過ごせるような支援にも心がけ家族には衣替え等も協力してもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しくなるような環境を提供する努力を毎日スタッフが意識している。本人の嗜好の把握にも取り組んでいる。	食材業者のメニューに沿って食事を作っているが、利用者に希望を聞きメニューを変更したり、足りない材料は一緒に買物に出かけている。利用者によって下ごしらえや調理、後片付け等を一緒に、検食を兼ねて一緒に食事する職員もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分を含め、個々の状態に応じた支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアと入れ歯等の調整を訪問歯科にて快適に過ごせる支援を行っている		

グループホームシオンの郷(ひだまり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、自立支援を行っている。	日々の経過をチェック表に記載して、利用者毎の排泄パターンを職員が把握し、それに応じた誘導を心がけている。できるだけトイレでの排泄が出来るよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々による排泄パターンの把握により、適度な運動をはじめとし、予防と管理に努力し取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の希望やタイミングに合わせた、個別入浴を行っている。入浴にはリラックスできる環境づくりにも心がけ支援、介助、見守りを行っている	毎日の入浴も可能で、基本的には午後からの入浴となっているが、利用者の希望で陽が落ちてから入浴する方もいる。浴室はジャグジーが設置され、心地よい入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を踏まえながら、安眠や休息できる支援をおこなっている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	訪問薬局より服薬について説明を受けている。症状の変化による服薬の対応も敏速に対応し協力を受けている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみや役割を持てるような支援をしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に旅行や外出したりと家族の協力を得て行っている。	皆で近くの神社に出かけたり、月に一度、デイケアに出かけている。常に500坪もある広い庭を自由に散策し落ち葉を拾ったり、ベンチでお茶を楽しんでいる。また家族との外出や旅行等の支援をしている。	

グループホームシオンの郷(ひだまり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は現在には行っていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人に代わって電話をしたり本人の意思に添うような支援をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔で快適に過ごせるような空間作りに努力している。入居者に花の水遣りもしてもらっている。	洋館を改装した建物で500坪の敷地を有し、手入れされた広い庭には鯉が泳ぐ池もあり、自由に散歩できる。各スペースも広く、花や観葉植物をたくさん配し、小上がりの畳コーナーや廊下の隅のソファ、庭のベンチ等、愛犬と共に好きな場所で寛ぐことが出来ている。利用者は常に季節の移り変わりを感じながら生活している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内は明るく、リビング以外にもソファを置き景色を眺めたりとゆったりくつろげる環境を提供している。花や緑を豊富に取り入れ癒し空間作りにも努力している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の作品や愛用の家具、家族写真等が自室に飾り本人の居心地の良いように工夫努力を行っている	各居室は広く和室と洋室が用意され、利用者は自宅よりベッドや応接セット、仏壇、炬燵、テレビ等を持参され、以前の自作の絵画を飾ったり、ホームで栽培したひょうたんをランプにしてインテリアにしている利用者もいるなど、それぞれが過ごしやすい居室作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援、入居者本位を重視し快適で穏やかな生活をサポートできるよう努力している。		